

みなさん、こんにちは。

暦の上では、春雨が降って百穀をうるおすという「穀雨」が過ぎました。博物館には小学6年生が歴史学習に訪れています。

1. 縄文・弥生・古墳時代の学習

4月20日(木)は高津橋小学校、21日(金)は明石小学校の6年生が歴史学習に訪れました。解説ボランティアさんに縄文・弥生・古墳時代の説明をしてもらいました。火起こしの体験や自分たちの学校の近くにある遺跡の話聞くことで、これからの学習がさらに充実していくことでしょう。明石小学校の6年生の中には「おじいさんに上ノ丸貝塚のことを聞きました」という小学生。博物館のある場所は、弥生時代の上ノ丸遺蹟や古墳時代の上ノ丸貝塚のあった場所で、遺物も見つかっています。自分たちの住む近くに残っている歴史の足跡をたどることはワクワクするものです。高津橋小学校は会議室でアカシゾウとナウマンゾウの化石に触れて大満足でした。実物に触れることは本当に貴重な体験です。何をどのような手段で学ばせるのか、子どもたちの学びをどのように形作っていくのか、両校とも先生方と事前の打ち合わせをすることで当日の学習がスムーズに進みました。



火起こし 明石生小6年



弥生のコーナー 高津橋小6年生



化石について



貫頭衣を着て



アカシゾウの化石は重い



人形展も見学

2. 学社融合授業 錦城中学校1・2年生

4月20日(木)、午後からは錦城中学校の1・2年生が「博物館へ行こう!」と題した学社融合授業を実施しました。常設展示室の見学と与勇輝展の人形見学を合わせて行いました。



ボランティアさんの解説



人形展の鑑賞について



ケースの中には「おこた」で眠る女の子

お気に入りの作品は?おしゃべりをしているように見える人形は?自分に問いかけをしながらの鑑賞でした。

博物館を活用した授業をあれこれと考えていきましょう。事前の打ち合わせでいろいろといいアイデアが出てきますよ。